

## 平成 25 年度 第 2 回常任委員会議事録

1 期 日；平成 26 年 2 月 7 日（金）

2 会 場；京都府京都市・同志社大学寒梅館大会議室

3 出席者；釜井、諸江、根岸、池田(博)、佐藤、安藤、大槻、豊田、村田、松本、市ヶ谷、和田、森、伊勢、恒松、平、多田、

### 4 議事

1. 挨拶；全国高体連 F 部長（釜井）

2. 大会運営について

①第 38 回全国高等学校選抜大会（秋田大会）

- ・配宿業者を通した申込みを行った学校が 1 / 3 しかないため、10 万円見込んでいた協賛金が 5 万円に減ってしまった

- ・競技日程について説明あり

- ・競技役員について説明あり

→変更・追加は以下の通り

- ・技術委員に恒松先生を追加      ・用具検査官 恒松先生→平先生へ

- ・ピスト指導委員に大槻先生、和田先生を追加      ・事務局次長に多田先生を追加

- ・技術委員；藤沢先生を削除      ・技術委員地元枠については後日回答

- ・審判については、32 名何とか揃いそうである

- ・東北の審判が多いため、決勝トーナメントに支障があるのではないか

→拓殖大学の学生で調整する予定

※審判員については、地元秋田と相談し再度調整する

②平成 26 年度全国高等学校総合体育大会（神奈川大会）

- ・実施要項について説明あり

- ・開会式は別会場で実施、閉会式はアリーナで実施

- ・競技会場の空調設備は、メインアリーナのみ

- ・申込先については、例年同様とする

- ・参加制限が昨年度とは違う（エリートアカデミー生徒についての記載が加わる。この追加文については、全国高体連で承認済み）

- ・プログラム編成会議の日程を 7 月 3 日・4 日の 2 日間とした。会場は、山下公園内日本丸近くの会議室を予定している

- ・諸会議は、教育センターで実施する予定

- ・競技会場の開場時間が 9 時となるため、試合開始時刻が 10 時からとなる

- ・企業協賛が入るため、ゼッケンの下に企業名が入る予定

③第 39 回全国高等学校選抜大会（奈良大会）

- ・日程、競技会場等について説明あり

- ・宿泊については、橿原市内を予定しているが、大阪へ割り振ることもある

3. 報告事項

①平成 25 年度行事報告（安藤）

- ・25 年度行事について報告あり

②競技委員会報告（伊勢）

- ・第 2 回競技委員会について報告あり

③強化普及委員会報告（恒松）

- ・25年度指導者講習会について報告あり
- ③平成25年度全国高体連報告 後期(釜井)
  - ・エリートアカデミー事業に参加に関する規程の承認をもらった
  - ・2020年東京オリンピック開催にともなう総体の開催について、開催地変更等も含めて検討していく
  - ・財務構造転換が取り上げられた
 →協賛金減にともなう改革で、広告協賛募集に協力していく事になった
- ④平成25年度日本フェンシング協会報告 後期(釜井)
  - ・会計処理の仕方に問題があった
 →第三者委員会の最終報告が2月末に提出され、これを受けて日本協会では対応を検討する予定
  - ・協会主催の大会出場について高校生は公欠で対応されているが、大学生に関しては欠席扱いとなっている。そのために出席不足で留年する学生がいる。日本協会に対し、対応検討を依頼した

#### 4. 協議事項

- ①平成26年度行事予定案について(安藤)…承認
  - ・26年度行事予定について説明あり
  - ・指導者研修を海外で予定したが、準備日程の都合上、来年度へ延期する。期日については、同志社大学藤沢先生と相談の上で調整する
- ②平成26年度予算案(根岸)…承認
  - ・26年度予算について説明あり
  - ・雑支出増は、大会用トランシーバーの追加購入と用具検査ボックス購入による増である
- ③競技委員会・総務委員会共同提案事項(根岸)…承認
  - ・規約規程集の改正について説明あり
 →改正点は以下の通り
  - 1 社団法人日本フェンシング協会→公益法人日本フェンシング協会
  - 2 全国高体連フェンシング部→全国高体連フェンシング専門部
  - 3 第3章 競技会場 第7条 1 競技会場(1)
    - ・(8ピスト分)→(9ピスト分)
    - ・「合わせて競技進行を円滑に進めるための予備ピスト(1~2)」を追加
    - ・観覧席(約500名分~700名分)→約700名分程度
    - ・一般観覧席(約200~300名分)→約300名分程度
  - 4 第3章 競技会場 第7条 1 ピストの数
    - ・必要なピストの数は8→9
  - 5 第3章 競技会場 第7条 4 ピスト補助設備
    - ・武器→用具
    - ・(両側に5~6脚)→(両側に6脚)
    - ・ゲージ(8個)→(1個)
  - 6 補助の設備
    - ・練習会場は4~6ピスト分→6ピスト分程度
  - 7 第4章 競技者および参加者 (2)個人対抗
    - ・①男子及び女子→男女
    - ・②男子のエペ・サーブル及び女子の→削除、各都道府県の後に、「とも男女それぞれ」を追加
    - ・「④JOCエリートアカデミー事業に参加している生徒が各都道府県で出場権を獲得した場合は、別に当該都道府県から同じ人数を追加することができる」を追加
  - 8 第4章 競技者および参加者 (3)高体連特別規則

・①に「大会によっては、ゼッケンとともに大会スポンサーの広告を義務づける場合がある」を追加

9 補則 1 要項 3. 競技補助員

・技術委員会 開催地 16名(2名×8)→18名(2名×9)

・ピスト 開催地 80名(5名×8ピスト×2)→72名(4名×9ピスト×2)

10 2 外国人留学生の大会出場規程→外国人留学生等の大会出場規程

11 2 外国人留学生の大会出場規程 第2条 学校対抗のエントリー数

・「3. JOCエリートアカデミー事業に参加している生徒は大会開催要項の規程人員のうち1名エントリーすることができる。」を追加

12 2 外国人留学生の大会出場規程 第4条 報告

・現行規程を1.とし、「2.各都道府県高等学校体育連盟フェンシング専門部委員長は、JOCエリートアカデミー事業に参加する生徒がいる場合は、4月当初もしくはその事実が発生した後、出来るだけ速やかに様式2により(公財)全国高等学校体育連盟フェンシング専門部長に報告する。」を追加

13 上記改正の期日は、全て全国委員会の日付とする

14 「様式2 外国人留学生の申請」書の改定

☆その他の意見

・ゼッケンを安全ピンで留めることは認めていない。規程に記載しなくてもよいのか

→ユニフォーム上に突起するものは認められていないのが現状。特に表記する必要はないと考える

・総体の賞状は、全国高体連から監督分は出されていないので規程から外した方がよいのではないか

→確認して夏の常任委員会で報告する

・ピスト補助員の4名は必要ないのではないか

→必要である

・7条3のロンリュームを削除してはどうか

→ロンリューム等で対応する県もあるので現状のままにする

・選抜大会への協賛企業名を入れる場合も今後出て来る

・違反と罰則の広告規程に抵触しないのか

→高体連の試合は大丈夫である

③強化普及員会提案事項(恒松)…承認

・来年度の指導者研修は、フランスを予定していたが準備の関係で再来年度へ変更した。時期は11月頃で検討している

・26年度指導者研修は、10月の国体終了後あたりを考えている

・フランス研修を実施する場合、事前に参加希望アンケートを取り、参加人数をつかんでおいた方がよい。

・外部指導者は、どうするのか

→検討する

④その他

(1)「通信サービスの導入」について(根岸;別紙資料あり)…承認

・本専門部の業務で電話を頻繁に使用する方のために、このサービスを導入したい

・このサービスに電話番号を登録すると、電話代を本専門部が持つことになる

(2)経費削減について(根岸;別紙資料あり)

・総体の開催には多額の費用がかかり、開催地の負担が大きくなっている。そのため各専門部に削減要請が来ている

→大会役員の数を減らす試みを富山大会で実施してみたが、参加した役員の負担が予想以上に大きくなってしまった。本専門部で出来ることは、ほとんど行っているものでこれ以上は難しい

- 地元負担を減らすために用具検査ボードの購入を行う。2台そろえる予定だが、1台は鳥取県より無償貸与とする約束が出来ている。もう1台をKFEのウルマンボードとしたい
- 専門部だけではなく、旅行業者の宿泊斡旋を改善することで、協賛金を増やすことが出来るのではないか。削減だけではなく、協賛金を増やすことを考えた方がよいのではないか
- 全国高体連は読売新聞社から協賛を受けている。その関係で読売旅行社も配宿センターに入っている
- 審判器やリールセットなどを専門部がそろえて持ち回りとするのはどうか
- 審判員を帯同制としてはどうか
- 都道府県から協賛金を出す制度を作ってはどうか
- プラカードを参加校が自前で持ってくるようにする。ただしプラカード本体は専門部から購入する案はどうか（他専門部で実施しているところもある）
- ある専門部では参加校にプログラムを強制的に購入させているところもある
- (3) 選抜大会予選プールにおける2敗同士の対戦について（釜井）…承認
  - ・現状は2分ゲームという変則な形で実施している。これを公式ルール3分ゲームにするため、2敗同士の対決を行わないという方向で考えたい。秋田大会で検証し、夏の全国委員会へ提案したい

## 5. その他

- ①H26年度役員名簿について（釜井）…承認
  - ・諸江・根岸副部長の委員長兼務を解消したい
  - 強化普及委員長；恒松先生 総務委員長；安藤
  - ・無役の先生方に以下の通り役割をお願いしたい
  - 池田(博)先生；総務 佐藤先生；総務 大槻先生；強化普及 豊田先生；総務 平先生；競技 多田先生；総務
- ②登録について（和田）
  - ・次年度もUSBメモリで登録を行う予定
  - ・選抜大会への参加申込みが遅い学校が多く、参加資格確認が大変である
- ③検査ボードの管理について
  - ・通常、検査ボードはダンボールで保管されている。今回、専門部で導入する検査ボードは持ち回りになるので、つぶれて破損する恐れがあるのではないか
  - ボード用のケースを作ると重量がかかるため、ダンボール箱を補強しながら対応していきたい
  - ・開催地が検査ボードを所有している場合はどうするのか
  - 持っている開催地は飛ばして、次の開催地へ送る
- ④山口選抜について
  - ・種目の導入を考えているが、どのような手続きを取ればよいのか
  - 常任委員会へ提案して欲しい。全国委員会が開催される時に全国委員の先生に都道府県提案事項として出すのが良いのではないか